すき間塞ぎ板

特徴

- ●広くて隙間の少ない作業床で、安全な作業スペースを確保。
- ①建地と床付き布板の間 ② 2枚の床付き布板の間、2 パターンで設置が可能。



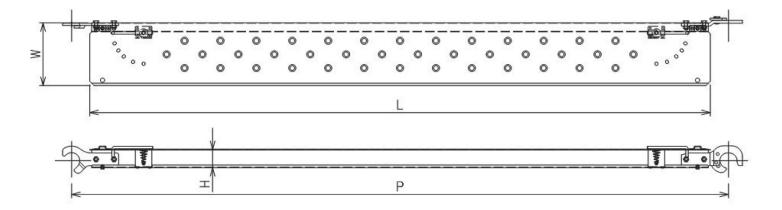




◆ 設置手順

- ①隙間塞ぎ板のフックを横架材に掛け、塞ぎ板を床付き布板に乗せる。
- ②ズレ止めピンを引き下げ、回転させてピン固定穴に差し込む。
 - ※ズレ止めピンは、隙間塞ぎ板を乗せる床付き布わくに最も近い位置の穴に差し込むこと

◆ 外形寸法図



品番	適用スパン P	寸法 L	重量 (kg)
CKF18	1829	1728	5.0
CKF15	1524	1423	4.3
CKF12	1219	1118	3.5
CKF9	914	813	2.8
CKF6	610	509	2.1

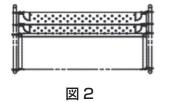
◆ 使用基準・

各種足場において、隙間塞ぎ板を使用する場合は、労働安全衛生規則に定めるあしばに関する規定による他、次によるものとする。

- ①隙間塞ぎ板を使用する枠組足場、または、くさび緊結式足場のはり間方向に、床付き布枠をできる 限り幅いっぱいに敷き並べること。
- ②隙間塞ぎ板は床付き布板に乗せて使用するものとし、単独で使用しないこと。(図1)
- ③隙間塞ぎ板を足場のはり間方向に連続して使用しないこと。(図2)
- ④隙間塞ぎ板の床付き布枠からの脱落を防止するため、床付き布枠及び隙間塞ぎ板が容易にズレない 処置を施すこと。
- ⑤隙間塞ぎ板と床付き布枠の重なりは常に10mm以上確保すること。(図3)
- ⑥隙間塞ぎ板の積載荷重は100kg f以下とする。ただし、1スパン間の積載荷重は敷き並べた床付き 布枠の許容積載荷重の合計を超えてはならない。



×はり間方向の連続使用はNG



● 隙間塞ぎ板と床付き布枠の重なりが 10 cm以上となるのが設置目安

